

「誰か」のことじゃない

1 対象
中学生

2 ねらい

病気や感染症についての誤った知識や不確かな情報が広まることで、患者やその家族に対する周囲の差別的な言動により当事者を傷つける可能性があることに気づく。また、病気や感染症について正しく理解することの重要性を学び、感染症などが流行したときに、どのような考え方や行動が大切なのかを考え、今後の自分の言動につなげようとする態度を育てる。

3 準備するもの

- 動画 「「誰か」のこと じゃない。～新型コロナウイルス感染症に関連する人権侵害をなくすために～」（東京法務局チャンネル）<https://www.youtube.com/watch?v=oxEftLOUGFE>
- ワークシート
- 新聞記事



4 解説

新型コロナウイルス感染症が拡大した際、感染者やその家族、医療従事者などへの偏見や差別、誹謗中傷が各地で発生し、インターネット上の心ない書き込みなども見られました。それらの言動などは、人権侵害につながることがあります。

このワークでは、正しい知識や情報をもとに行動することの大切さを理解するとともに、無自覚な言動により、相手を傷つけ、自分が差別する側になる可能性があることに気づき、感染症などが流行したときに、どのような考え方や行動が大切なのかについて考えていきます。また、同様に不確かな情報により不安を感じる他の感染症（季節性インフルエンザなど）についても、共通の課題に気づき、今後の自分の適切な言動につなげられるようにします。

なお、新型コロナウイルス感染症に関する差別などについては、＜参考資料など＞に記載した資料を参考にしてください。

5 教科などとのつながり

保健体育、特別の教科 道徳 など

6 進め方（展開例） 50分

| 時間 | 学習の流れ（活動・内容） | 留意事項 | 資料など |
|-----------|---|---|---|
| 導入 13分 | <p>◆学習の確認（2分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れや留意点の説明を聞く。 <p>◆アイスブレイキング（11分）</p> <p>「伝言ゲームをしよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで縦一列に並ぶ。先頭の生徒は教師が提示した新聞記事を読んで内容を要約し、次の生徒に伝える。（読む時間は、1分程度） ・聞いた内容を次の生徒に伝えることを繰り返す。 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業の流れを説明する。 ・P4〔学習の約束〕を伝える。 ・6人程度のグループで行う。 ・扱う新聞記事は、生徒が1分程度で読むことができ、要約できるものにする。 ・伝え間違った生徒が非難されることのないように留意する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事 |

| | | | |
|------------|--|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・列の最後の生徒が、伝言された新聞記事の内容を発表する。 | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・同じ情報が、受け取り方や伝え方によって正しく伝わらないこともあり、それが間違っただけの情報として広がる恐れがあることに気づく。 | | |
| 展開 27分 | <p>◆アクティビティ (27分)</p> <p>①新型コロナウイルス感染症が流行したときの状況を想起し、未知のウイルス感染症が流行したとき、どのような考え方や行動が大切か考え、ワークシートの1に書く。</p> <p>②新型コロナウイルス感染症が流行したときの事例について、それぞれの立場での気持ちを個人で考えワークシートの2に書く。</p> <p>③②についてグループで話し合う。</p> <p>④なぜ2のA、Bのような発言をしてしまったのかを個人で考え、ワークシートの3に書く。</p> <p>⑤④についてグループや全体で共有する。</p> <p>⑥あらためて、未知のウイルス感染症が流行したとき、どのような考えや行動が大切か個人で考え、ワークシートの4に書く。</p> <p>⑦⑥についてグループ・全体で共有する。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の流行について生徒が記憶していない場合もある。そのときは現在の生活と比較しながら補足する。 例) 皆がマスクをしていた。 自分が元気でも、家族が感染すると学校に行けなかった。 給食は孤食だった。 など ・3～4人のグループで行う。 ・感染や発症に対する不安だけでなく、未知のものに対する恐れなどに伴って偏見・差別が起こったことに気づかせる。 ・不確かな情報は鵜呑みにせず、正しい知識や情報を得ることが大切である。不確かな情報を鵜呑みにすると誤った情報を広める加害者になる可能性もあることに気づかせたい。 ・学習前の自分の考えを確かなものとする生徒もいる。考えの変容を知るためだけの記述ではないことに留意する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート |
| まとめ 10分 | <p>◆まとめ (10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動画 (2分) を見た上でまとめる。 ・学習で考えたこと、思ったことなどをワークシートの5に書く。 | | <ul style="list-style-type: none"> ・動画 ・ワークシート |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・病気についての不確かな情報や不安な気持ちなどから、偏見を持ち、相手を傷つけ、差別してしまう可能性があることに気づく。 ・感染症などが流行したときに必要なことについて考え、今後の自分の言動につなげられるようにする。 | | |

<参考資料など>

- ・「新型コロナウイルス感染症に関連して発生した人権問題への対応」 (法務省ウェブサイト)
<https://www.moj.go.jp/content/001352841.pdf>
- ・「新型コロナウイルス関連の“差別”について 資料8-1」 (内閣官房ウェブサイト)
https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/ful/wg_h_3_8.pdf

だれ
「誰か」のことじゃない

() 年 () 組 () 番 名前

- 1 未知のウイルス感染症が流行したとき、どのような考え方や行動が大切でしょうか。

- 2 事例をもとに考えましょう。

A 新型コロナウイルスに感染し、回復して久しぶりに登校した際、クラスメイトから「コロナだから、距離をとれ」と言われた。

言われた人の気持ち

言った人の気持ち

B 医療関係に従事する保護者の子どもが、友達に「一緒に帰りたくない」と言われた。

言われた人の気持ち

言った人の気持ち

- 3 どうして2のA、Bのような発言をしてしまったのでしょうか。

- 4 未知のウイルス感染症が流行したとき、どのような考え方や行動が大切か、あらためて考えましょう。

- 5 今日の学習で考えたことや思ったことを書きましょう。